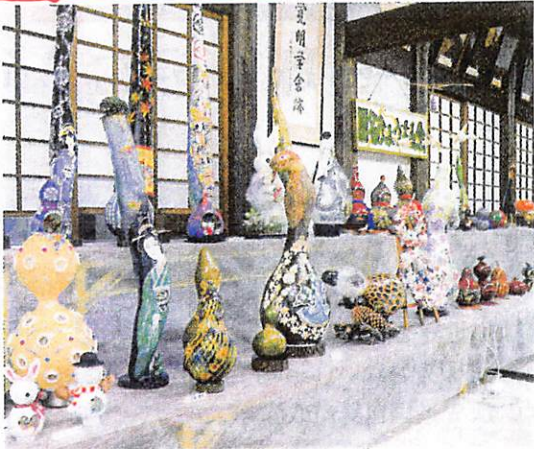


# 色鮮やかな瓢箪ずらり

田名民家資料館で展示

相模田名民家資料館で現在、「ひょうたん作品展」が開催されている。7月21日(日)まで。入場無料。約120点の個性豊かなひょうたんを鑑賞することができる。



さまざまな色や形のひょうたん

を通して栽培から加工までの作業を行っている。動物をモチーフとした作品や、貝殻を使って模様をつけた作品、長さ2・7メートルの「アメリカ長瓢箪」など、色とりどりのひょうたんがずらりと並んでいる。開館は木・金・土・日の午前10時から午後4時まで。同会は、一緒にひょうたん作りを楽しむメンバーを募集中。問い合わせは小菅さん ☎090・21605・4331。



未就園児と保護者などが野外で鍋を作ったり遊んだりする保育サークル「もりのこ」が6月9日、10周年を記念してイベントを開催した。これまでサークルに関わった親子120人が、冒険遊び場「銀河の森プレイパーク」(弥栄)に集まった。音楽ライブや器材持ち寄りのケーキ作り

## 尾崎ゆかりの品を紹介

相模原市立博物館 新規収蔵資料を一挙公開

相模原市立博物館の特展「尾崎ゆかりの品を紹介」が25日(火)、26日(水)は原に生まれた偉人 尾崎行雄(号堂) 新規収蔵資料展」が開催されている。午前9時30分から午後5時まで(毎週月曜日および25日(火)、26日(水)は休館)。観覧無料。6月30日(日)まで。尾崎は1858(安政5)年、相模国津久井(現緑区又野)で生まれ、「憲政の神様」「議政の父」と称



尾崎行雄(昭和18年相模原市立博物館所蔵) 風雲閣にて

された政治家。1890(明治23)年の第1回衆議院議員総選挙での初当選以降、25回連続で当選を果たし、通算60年10カ月にわたり国会議員を務めた。今年、尾崎没後70年にあたることから、その活動の足跡を紹介するとともに、新規収蔵資料を一挙公開することとなった。詳細・問い合わせは、同館(中央区高根3の1の15) ☎042・750・8030。

# 人物風土記

題字は 本村賢太郎市長

○…「ひょうたんはどしどし作っているよ」  
 こから見ても丸い。心も丸く、穏やかに」。約40年間ひょうたん作り続け、9年前に「田名ひょうたん会」を発足した。現在、会員は15人。種まきから手入れ、収穫、乾燥まで手間を惜しまず、ひょうたんを育て、思い思いに加工する。月に2回、田名公民館に集まってランプやアクセサリーを制作するほか、秋には「田名文化祭」に出展。数年に一度のペースで相模田名民家資料館での展示会を開催し、こだわり抜いた作品を発表している。「みんな自由に、楽

## 唯一無二のひょうたんに



●田名ひょうたん会の顧問を務める

## 小菅 孝一さん

田名在住 82歳

○…「健康なうちはひょうたん作りを続けたい。会のみんなの顔を見るのが楽しい」と穏やかに笑う。加工の際は何度も色を重ね、丹精込めて唯一無二の作品に仕上げている。「高齢化で解散してしまうひょうたん会も多いけれど、頑張っ

## 次期理事長は

相模原青年会議所(JC/九嶋俊彦理事長)は6月13日、市立産業会館で来年度の理事長候補者選挙を開催した。現理事長の八木貴弘さんが立候補し、メンバーの信任によって2025年度理



25年度理事長候補者の八

音楽ライブを楽

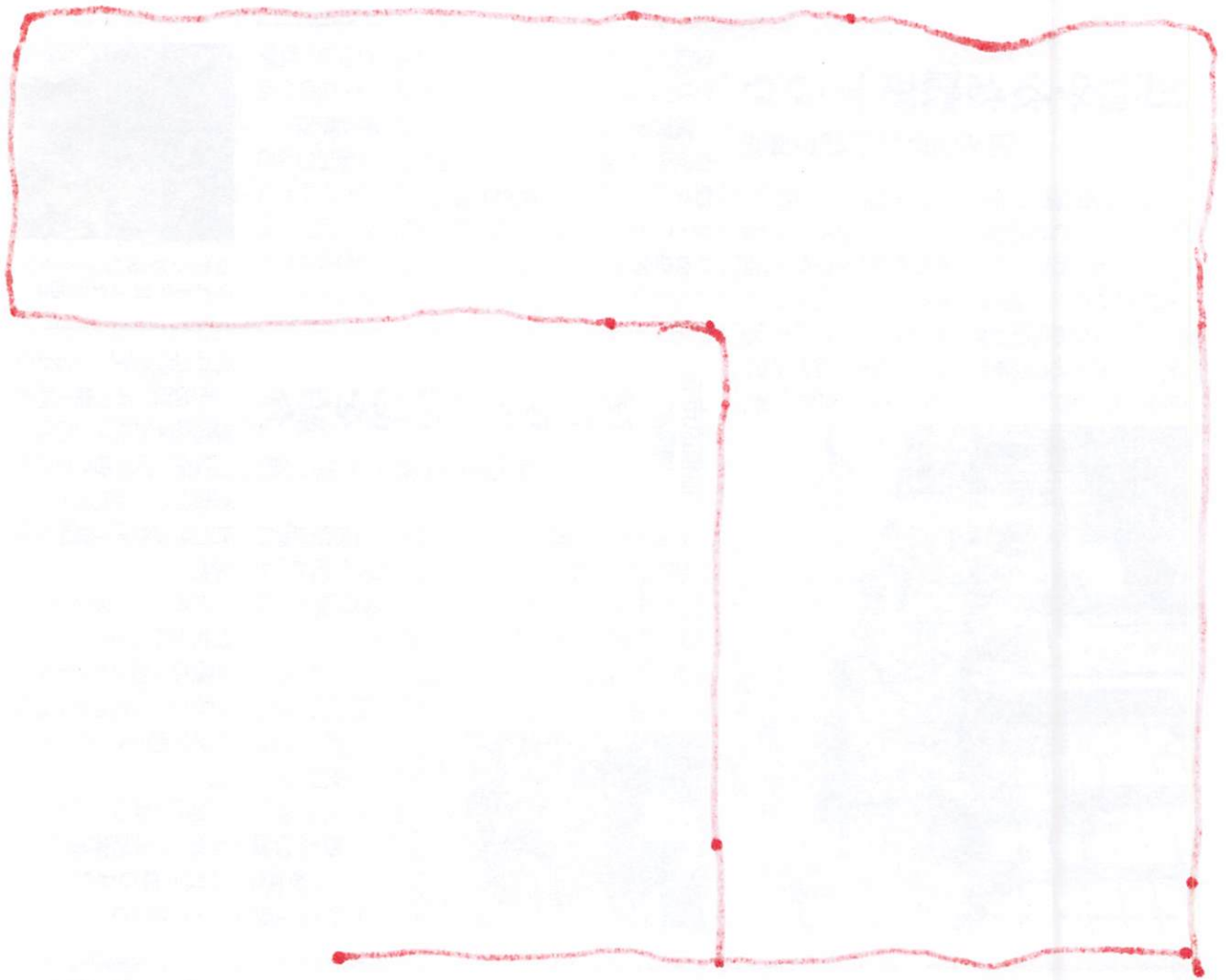


Figure 1

